

●P. 2 上「令和 2 年度の工事施工箇所について」

- ・ 4/27 に撮影しました、敷地の全体写真になります。
- ・ 掘削していた範囲を大きく A～E 工区の 5 つの工区に分かれて工事を進めていたので、過去の資料と対比するため、そのエリアが分かるような図としています。
- ・ 今年度は二次対策工事の最終年度であり、残りの工事は、覆土（廃棄物の飛散・流出の防止のため、きれいな土で覆う）をしますキャッピング工や舗装工、雨水排水工、フェンス工が主な工事となります。
- ・ また、B 工区（写真左下）では洪水調整設備工（いわゆる調整池）の整備、E 工区（写真右下）では進入路の復旧を行う予定です。

●P. 2 下「令和 2 年度工程表(案)」

- ・ 現時点（赤点線）における今年度の工程表であり、施工時期を表しています。
- ・ 前回 2 月の協議会時に解体着手を説明していた、選別処理施設（写真右上）は 4 月に解体撤去が終了しました。
- ・ 工事用進入路（E 工区、写真右下）の復旧については、6 月より電柱移設を行い、その後、盛土等を行う予定です。
- ・ キャッピング工については、各工区の法面部の覆土を実施し、6 月より平面部（写真中央）の覆土を実施しています。覆土材については、県土木事務所で発注している工事の発生土（土壌試験済み）を搬入しています。
- ・ なお、法面部については、6 月よりシート張を実施する予定です。北尾団地側法面については、過去に整備したシートが古くなったため撤去し、モルタル吹付を行います。
- ・ 舗装工については、進入路復旧箇所、洪水調整池周辺部や西市道部を工事の進捗に合わせて実施予定です。
- ・ 現在の進捗状況より、予定では 10 月頃（青点線）に現場の工事は終了し、後片付けや検査を行い、予定通り年度内に完了する見込みです。
- ・ 引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

●P. 3 「選別施設の解体状況」

- ・ 選別施設のテント（白色のシート、鉄骨）の撤去を 2 月より実施しました。（写真②）
- ・ テントの撤去後、基礎コンクリートの取り壊し・撤去を 3 月より実施しました。（写真③）
- ・ 4 月末には撤去完了しました。（写真⑤）

●P. 4 上 「A 工区の状況」

- ・ A 工区では、選別土による盛土、覆土の法面整形の実施や、排水側溝の整備を実施しています。
- ・ 選別土による盛土の法面整形後に、50cm 厚の覆土を実施しました。（写真②の後に、③）

●P. 4 下 「B 工区の状況」

- ・ B 工区では、A 工区同様、覆土の法面整形や、排水側溝の整備を実施しています。洪水調整設備工（いわゆる調整池）の整備を実施しています。
 - ・ 場内の雨水排水が集まる調整池では、底と側面にセメント改良を実施しています。（写真②、③）
- 改良後、底は張コンクリート、側面は遮水シートを整備予定です。

●P. 5 上 「CD 工区の状況」

- ・ 他工区同様、覆土の法面整形や、排水側溝の整備を実施しています。通気管（赤矢印）の仕上げは、今後整備予定です。

●P. 5 下 「E 工区の状況」

- ・ E 工区では、昨年 11 月に遮水工を完了し、選別土による盛土を実施しました。（写真①）
- ・ 有害物掘削除去工(I 区画)に伴い設置した土留矢板の引き抜きを実施しました。（写真②）

●P. 6 上 「鉛含有廃棄物土について」

- ・ 昨年度の 6 月の協議会において説明した鉛含有廃棄物土の埋戻しについて、3 月に実施しました。（参考に、第 29 回連絡協議会説明資料（令和元年 6 月 10 日開催）の抜粋を添付。）
- ・ 今後の対応について、粘性土で包み、元の位置付近で埋戻して位置情報を記録すると、説明していたので、対応状況を紹介します。

●P. 6 下 「鉛含有廃棄物土の対応状況①」（仮置き状況）

- ・ 平成 28 年 5 月 30 日に選別が終了し、シートで上下を覆い仮置き。（写真①）
- ・ 今回、埋戻し前に事前確認を実施しました。（写真②）

●P. 7 上 「鉛含有廃棄物土の対応状況②」（元の位置付近の状況）

- ・ 埋戻し箇所の状況を埋戻し前に確認を実施しました。（写真①、②）
- ・ 写真中の赤点線で囲われた部分が鉛含有廃棄物土で、周りは粘性土で包まれています。

●P. 7 下 「鉛含有廃棄物土の対応状況③」（施工状況）

- ・ 今回埋戻す鉛含有廃棄物土を粘性土で包み込むため、粘性土を厚み 50cm で敷設しました。（写真③が北尾団地側法面部、写真④が底部、写真⑤が場内側側面部、写真⑥がパイパス側法面部です。）
- ・ 粘性土の厚みも含めた埋戻し位置は法面下の平面部よりも高く、標高 145m～150m 付近です。法面下の平面部での高さは標高 141m 付近です。

●P. 8 上 「鉛含有廃棄物土の対応状況④」(施工状況)

- ・仮置き箇所での積み込み状況です。(写真①)
- ・埋戻し箇所での埋戻し状況です。(写真②、③)

●P. 8 下 「鉛含有廃棄物土の対応状況⑤」(埋戻し後の状況)

- ・鉛含有廃棄物土の仮置き分を埋戻したことを確認しました。(写真①)
- ・埋戻し位置情報の確認・記録を行い、工事後の管理・点検に活用します。(写真③)
- ・位置情報確認(写真③)の後、粘性土の上からさらに 50cm 厚の覆土を実施します。

●P. 9 上 「二次対策工事土工・処分実績(令和 2 年 3 月末現在)」

前回の協議会以降、太字部分の廃棄物を処分しました。

- ・有害物(掘削由来:特別管理産業廃棄物)とは、ドラム缶とその内容物(タール状の廃棄物)をフレコン袋に詰め替え保管していたものです。
- ・有害物(場内残置物:バッテリー、変圧器、薬品等)とは、以前から場内に残置されていた薬品(廃酸・廃アルカリ)です。
- ・未選別廃棄物土とは、選別施設撤去以降に実施した水路工事で発生した廃棄物混じりの土のことです。大部分は土で廃棄物が少量含まれていましたが、異質な廃棄物は含まれていませんでした。

●P. 9 下 「特異な廃棄物の処分および保管状況(二次対策工事期間)」

- ・前回からの変更点は、以下の 3 点です。
 - ① 安定器:
前回の協議会以降に、保管数を再集計したところ 1 個増の 617 個でしたので修正させていただきます。
 - ② 廃ガスボンベ:
内容物が確認できた廃ガスボンベ 17 本(約 0.18t)を処分しました。内容物は酸素、アセチレン、LP ガスでした。保管中の 1 本は、内容物が確認でき次第、処分する予定です。
 - ③ ドラム缶と一斗缶:
フレコン袋に詰め替えて保管していたドラム缶とその内容物 1.4t を処分しました。
- ・保管中の廃棄物は、今年度の処分完了を目標に準備を進めています。